

目 次

訳者まえがき	i
序 文	iv
謝 辞	vi
I 導 入	
1章 人工知能とは……………3	
プログラムはコンピュータに何をすべきかを命令する	
コンピュータが理解する言語	
コンピュータは記号を操作する	
II 個人の次元	
2章 人工ノイローゼ：ノイローゼ患者のプログラム ……27	
ノイローゼ患者プログラムの輪郭	
信念を変換する防衛機制	
プログラムの今後の改良点	
3章 ノイローゼ患者プログラムの機能と問題点 ……45	
人工ノイローゼ・プログラムが用いるデータ	
人工ノイローゼ・プログラムはどのように作動するか	
人工ノイローゼ・プログラムの欠点	
4章 個人の政治的信念と IDEOLOGY MACHINE ……85	
「熱い」認知のシミュレーション	
IDEOLOGY MACHINE	
信念の構造理論	
裏切り行為およびその他のテーマ	
スクリプトと映画の台本	

III 言語と理解

5章	言語への対応	125
	人間として通用するプログラム	
	PARRYはどうやっているのか	
	プログラム ELIZA はマイフェアレディのイライザとどう違うか	
6章	言語の理解における知能の役割	151
	SHRDLU との会話	
	ヘテラルキー的な思考	
	SHRDLU がもっている知識	
	お話を理解する	
7章	意味と意味論	203
	何がいわれようとしているのかを知る	
	概念の依存関係のプログラミング	
	機械翻訳	
	論理的推論なしのプログラムは可能か	

IV 視覚の世界

8章	2次元から3次元へ	247
	モデル, 手がかりおよび解釈	
	プログラム SEE はいかに見るか	
	図を意味づける	
9章	現実の世界を見る	283
	見えないものを見る	
	組合せ論的爆発に対する対処の仕方=影を見る	
	人間を見る, 動きを見る	
	参考文献	1
	人名索引	23
	事項索引	26

